

事務事業名		文化施設修繕事業		所属部	教育委員会		所属課	社会教育課スポーツ文化振興室			
総合計画体系	政策名		〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	スポーツ文化振興G		課長名	藤原 典裕		
	施策名		〈31〉地域文化の振興		担当者名	永瀬 玉緒		電話番号	0854-40-1073		
	目的	対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。						
	基本事業		〈091〉文化芸術の振興		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
	目的	対象	市民	意図		文化芸術活動に親しむ。		中事業	中事業名		
					0	1	5	0	0	1	社会教育施設管理事業
					項	目	中事業	中事業名			
					2	5	1	0	1	9	文化施設修繕事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)		② 意図(対象がどのような状態になるのか)	
① 市民 ② 市外の人		市民が文化芸術活動に親しむ機会を拡充するため、文化施設を適切に維持していくための修繕を実施する	
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)			
事業期間 □ 単年度のみ ■ 単年度繰返 (R元 年度～) □ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		老朽化が著しい文化施設(加茂文化ホール・木次経済文化会館・古代鉄歌謡館)の修繕を計画的・効率的に実施する。 ・加茂文化ホール H7.3月建築 ・木次経済文化会館 H4.5月建築 ・古代鉄歌謡館 H3.9月建築	
④ 主な活動		⑤ これまでの改革・改善経緯	
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)		(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	
①修繕工事契約業務 ②修繕工事工程管理 ③協議・指導業務		市内にある3つの文化施設はいずれも築25年以上を経過し老朽化が著しく、近年、故障が多発していた。また、耐用年数を超えた機器や交換部品等がないものも多く、計画的・効率的な修繕が必要である。	

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 文化施設(3施設)利用者数	人	39,617	58,880	52,469	51,000
イ 文化芸術に親しんでいる市民の割合	%	40.7	42.6	40.9	50.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
修繕費 1,012千円 工事請負費 3,373千円 【財源】大規模事業等基金繰入金 4,300千円 <繰越明許> 委託料 41,536千円 【財源】地方債(過疎) 41,500千円 ※令和5年度より大規模改修については「文化施設大規模改修事業」へ移管		財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円		348,800	41,500	4,900
			その他	千円			4,300	
			一般財源	千円	12,156	26,899	121	600
			事業費計	千円	12,156	375,699	45,921	5,500

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	【令和5年度実施内容】 ラメール／フル2線スイッチ修繕工事、消防用設備修繕工事 チェリヴァホール／弱電用貫通口取付修繕工事、空冷チラー不具合修繕工事、舞台・ホール排煙オペレーター修繕工事、2階クロス張替え工事、3階壁・天井改修工事、多目的トイレ軽量鋼製折戸工事 古代鉄歌謡館／古代鉄歌謡館／排煙窓オペレーター装置補修工事 (繰越)ラメール／大規模改修事業 設計業務
② 事業実施するうえでの課題	令和5年度をもってチェリヴァホールの大規模改修事業が完了したが、当該事業より漏れた箇所の修繕が発生している。 令和6年度よりラメールの大規模改修事業を実施する。 古代鉄歌謡館も空調機器などの不具合が発生しており、早急な修繕が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	指定管理者と協議し、優先順位をつけて修繕を実施していく。